



咳が続く風邪。この時期に流行する「ヒトメタニューモウイルス感染症」をご存知ですか？

ヒトメタニューモウイルス (HMPV) とは

春に流行するウイルスで、乳幼児期のhMPV感染症はRSウイルス感染症とよく似ています。気管支炎や肺炎など呼吸器感染症を引き起こすウイルスの一種です。母親からの移行抗体が消失する生後6か月くらいから感染が始まり、2歳までに50%、10歳までにはほぼ全員が感染します。一度の感染で終生免疫（一生体の中に残る免疫）が出来ず、再感染します。症状は感染の回数が増えるにつれて軽症化していきます。飛沫感染で、潜伏期は4-6日です。

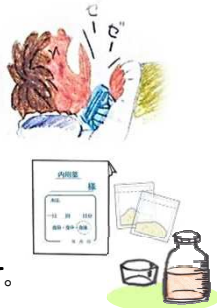
主な症状

- ・発熱（4-5日程度続くことがあります）
- ・咳（1週間ほど続くことがあります）
- ・鼻汁



悪化すると、以下のような症状が出る場合があります。

- ・ゼイゼイ（ヒューヒュー）という呼吸（喘息様気管支炎、細気管支炎）
- ・呼吸困難



治療方法

ヒトメタニューモウイルスに直接効果がある薬はありません。症状に合わせて薬を処方いたします。

登園・登校について

熱などの主症状が落ち着き、全身状態が良ければ登園・登校は可能です。

検査について

迅速検査キットが数年前に発売されましたが、保険の適応は「胸部X線写真（レントゲン）で肺炎が強く疑われる6歳未満児」に限られていました。

今年の4月からの診療報酬改定に伴い「胸部X線検査（レントゲン検査）をしなくても、聴診所見などから肺炎が疑われる場合には6歳未満児に対し保険適応で検査」ができるようになりました。

しかし、熱が出たからといってすぐに検査をするようなものではありません。検査して陽性の診断がついても特効薬はありません。

必要な場合は医師より検査をお勧めいたします。



☆検査方法について☆

鼻に綿棒を挿入し、鼻水をぬぐってくる検査になります。お子様にとっては苦痛を伴う検査ですが、なるべく短時間で出来るよう努めます。動いてしまうと危険で、時間がかかってしまいます。保護者の方々もご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

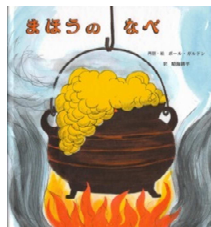


今月の絵本

まほうのなべ

再話・絵 ポール・ガルドン
訳 晴海耕平

ある日、女の子が魔女からまほうの鍋をもらいました。大事な呪文が二つあります。呪文を唱えると、オートミールが煮えて出て…読み進めると、少しハラハラするお話。ぜひ、絵本の中の光景を想像しながら読んでみてください。



おしらせ

5/8(火) 14~16時まで、そらいろこどもまつりです！！皆さんに楽しんでもらえるとうれしいなあと思っています♪

小学校は今月末から来月にかけて運動会の時期ですね！！
天気が良くなるといいですね（^◇^）



次回もおたのしみに～